

自主調査結果のご案内
ミャンマー 景況感に関する調査

合同会社 サーベイマイ
2014年2月

調査概要

対象国:ミャンマー

調査手法:オンライン調査

対象者条件:20歳以上のミャンマーに住んでいる一般男女

Facebook上の自社で運営するコミュニティ「Smaphone」で募集し、回収

質問数:10問

回収数:N=233

調査期間:2014年2月4日-7日

調査実施主体:合同会社サーベイマイ

回収数の内訳

年代	男性	女性	合計
20代	75	69	144
30代	29	29	58
40代	19	12	31
合計	123	110	233



調查結果

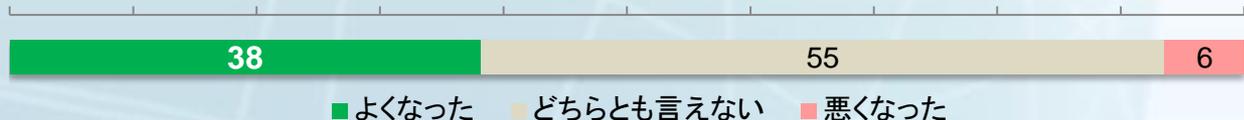
景況感指数 各設問に対する「ポジティブな回答数－ネガティブな回答数」を指数化

指数

①暮らし向き指数

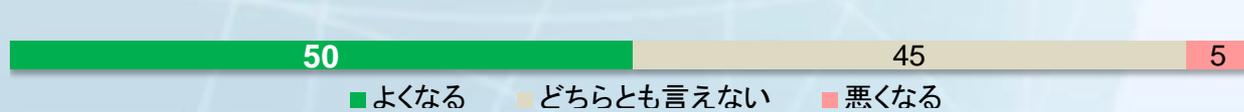


Q1.1年前と比べて、あなたの暮らし向きがどう変わったと感じますか。(SA)



→ 32

Q2.1年後のあなたの暮らし向きは、現在と比べてどうなると思いますか。(SA)



→ 45

②収入増減指数

Q3.1年前と比べて、あなたの世帯の収入はどう変わりましたか。(SA)



→ 40

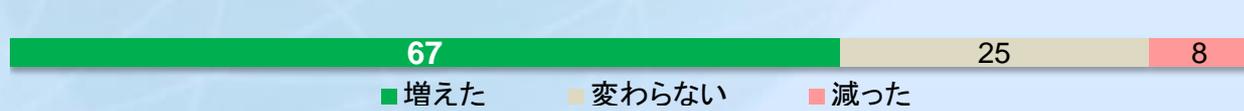
Q4.1年後のあなたの世帯の収入は、現在と比べてどうなると思いますか。(SA)



→ 59

③支出増減指数

Q5.1年前と比べて、あなたの世帯の支出はどう変わりましたか。(SA)



→ 59

Q6.1年後のあなたの世帯の支出は、現在と比べてどうなると思いますか。(SA)



→ -6

「良い」から「悪い」を引いた暮らし向き指数は、全体の現状は32。
 将来見通しは45とさらにポジティブ。
 40代、低所得層でスコアが低い。

暮らし向き指数 昨年(来年)の暮らし向きが「よくなった(よくなる)」-「悪くなった(悪くなる)」



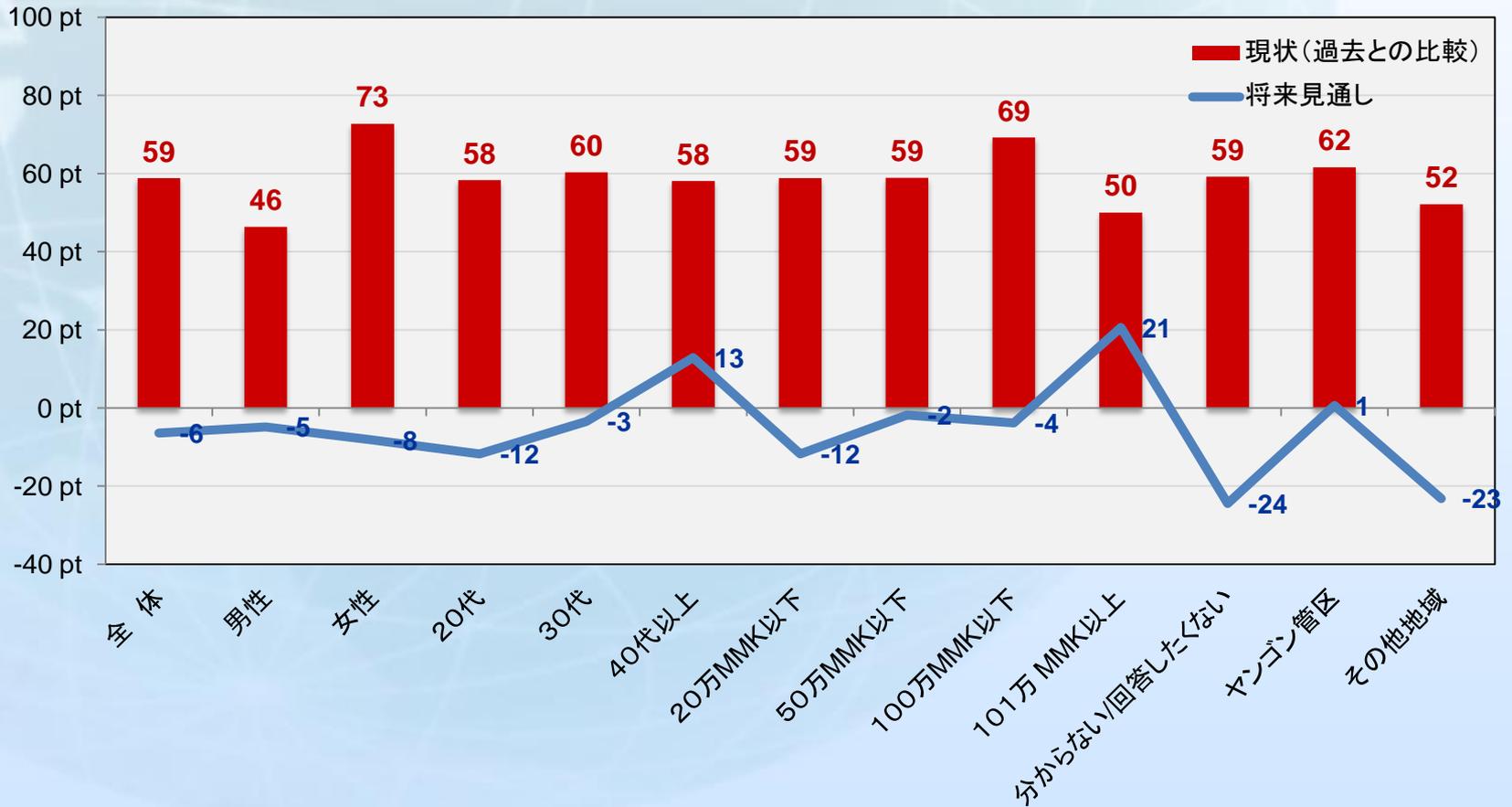
「増」から「減」を引いた収入指数でも、全体で現在:40/将来見通し:59と高い数値。
高所得層ほど指数が高い。

収入増減指数 昨年(来年)の収入が「増えた(増える)」-「減った(減る)」



支出指数(「増」-「減」)においても、昨年比は59となっているが、
将来見通しは-6と支出を減らす意識がある人がやや多い。

支出増減指数 昨年(来年)の支出が「増えた(増やす)」-「減った(減らす)」



昨年に購入したもので気に入っているものとその写真(任意) - 1

写真



内容

タブレット(lenovo)

プリンター(Epson)

アルカリ水イオン装置

属性

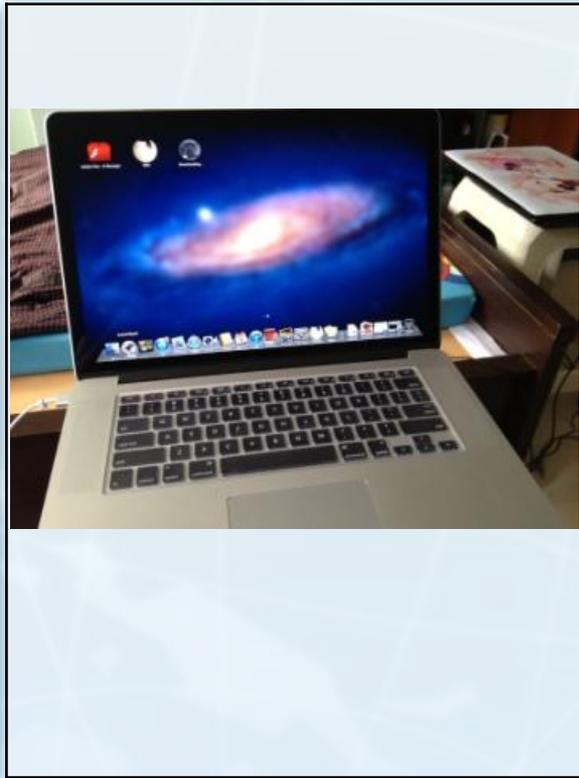
20代女性
自営業

30代男性
飲食店店員

30代男性
自営業

昨年に購入したもので気に入っているものとその写真(任意) - 2

写真



内容

MacBook Pro (Retina Display)

ドレス

Sony XperiaZ1(LTE)

属性

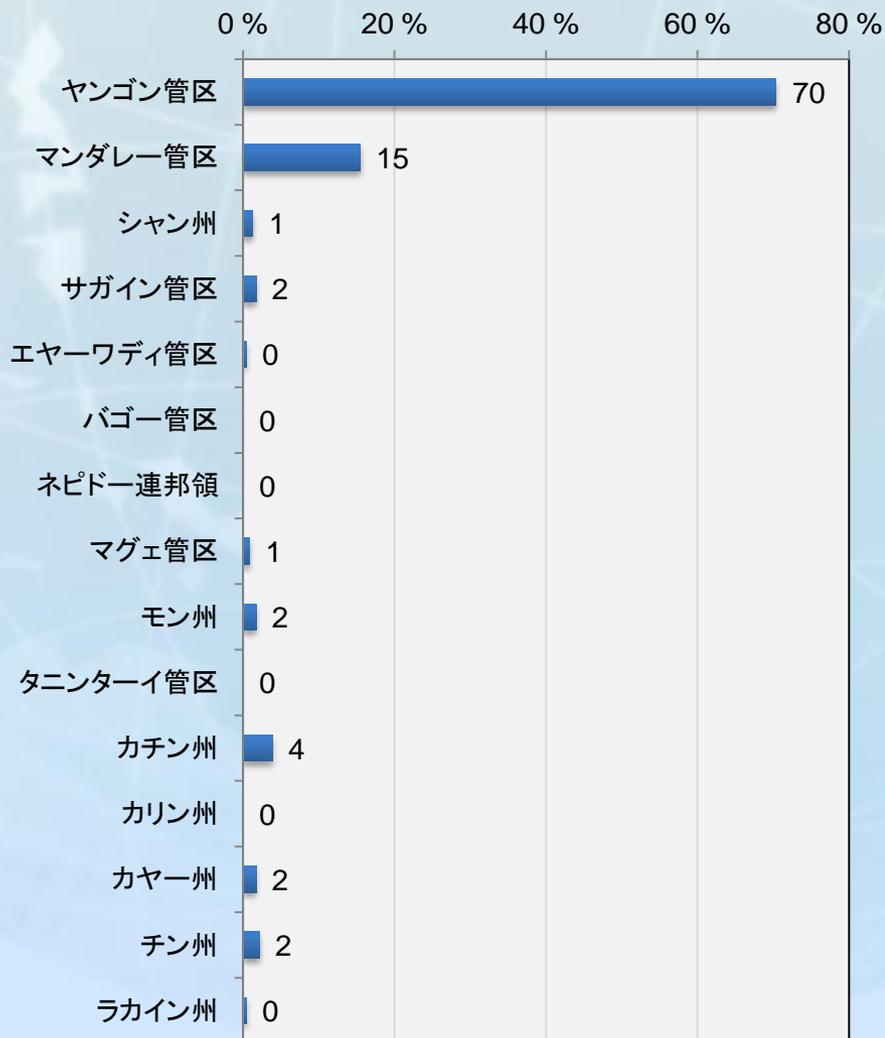
20代男性
学生

20代女性
無職

40代男性
公務員

属性データ

S 居住地域(SA)



参考:ミャンマーの行政区分地図

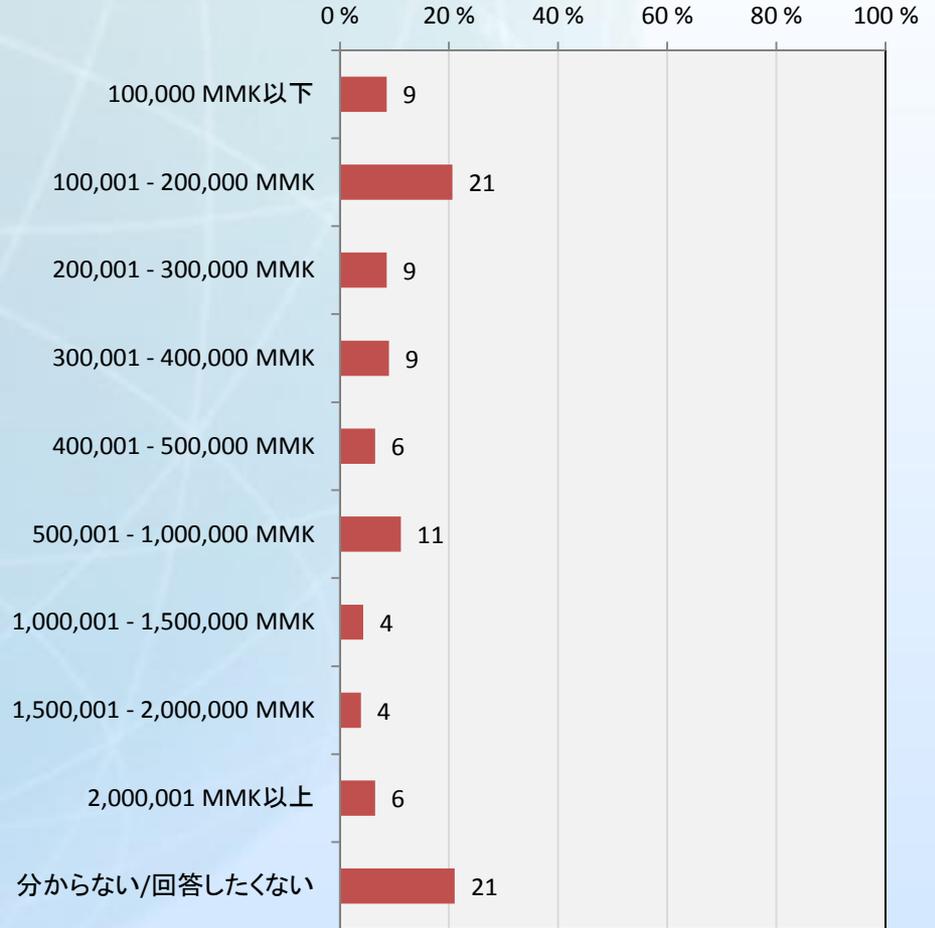


F 職業(SA)



F 世帯月収(SA)

※1MMK(チャット)=0.1円



Q 以下の商品カテゴリーの中で、あなたが現在所有している物をお答えください。(MA)

